

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2023年9月号(年3回発行) 第163号

「多言語情報誌『インフォメーションふじみの』からみる 外国人支援の歴史展」と「記念交流会」を開催します。

ふじみの国際交流センター(FICEC)は1997年7月に設立され、活動開始とともに多言語情報誌「インフォメーションふじみの(以下、インフォふじみの)」の発行を始めました。「インフォふじみの」は会員のみなさんや翻訳者、スタッフのご協力のにより、2023年11月に260号を数えるまでになりました。今年はFICEC設立から26周年でもあり、皆さまのご支援に改めて感謝申し上げます。



0号表紙

FICECは「多文化が未来を拓く」を合言葉に、「インフォふじみの」の発行、チャターボックス、日本語教室開講、国際交流、国際子どもクラブの活動を始めました。これらの活動は26年を経過した現在も30名を超えるスタッフ、ボランティアによって引き継がれ、埼玉県における外国人支援の拠点として役割を果たしています。

特に「インフォふじみの」は、「0号」の表紙に外国人と日本人が共に豊かに暮らせるまちづくりと宣言し発行が始まりました。「インフォふじみの」のサブタイトルは「ふじみの地域での日本語に難しさを感じている外国の人達のための7か国語の情報誌」と明記されました。「インフォふじみの」の26年間を振り返り、外国籍住民とともに歩んできた歴史、変遷、果たしてきた役割について語り合い、交流したいと思います。

今回は、「166号」から表紙絵を書いて頂いている林様のご厚意により「インフォふじみの原画」の展示も行います。「歴史展」へのご来場、「記念交流会」へのご参加をお待ちしています。(事務局長 永田信雄)

記

『インフォメーションふじみの』からみる外国人支援の歴史展

1.日時 11月3日(金・祝)・4日(土) 10:00~19:00
11月5日(日) 10:00~14:00

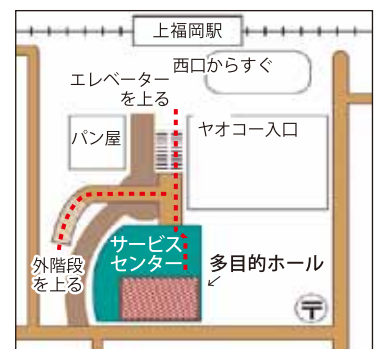
2.場所 ふじみ野市サービスセンター多目的ホール
埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1-2-7
(ふじみ野市サービスセンター2階)



この事業は宝くじの助成金で実施いたします。

『記念交流会』

- 1.日時 11月5日(日) 15:00~16:30
- 2.場所 ふじみ野市サービスセンター多目的ホール
- 3.関係者の皆様には9月中旬に招待状を郵送いたします



「多言語情報誌『インフォメーションふじみの』」の歴史

～ 26年間で260号～

外国人と日本人が共に豊かに暮らせるまちづくりを目的に、「インフォふじみの0号」が発刊されたのは1997年7月、任意団体ふじみの国際交流センターの設立と同時でした。4月12日、FICECは「設立を考える会」から「設立準備会」に改称され、活動を開始しました。

4月26日、設立準備会は多言語情報紙「インフォメーション草加」を発行している編集者を招いてヒアリングを行いました。そして5月24日に第1回編集会議を開き、7月1日の「インフォメーションふじみの・プレ創刊号・くらしの情報」を発行することを決定しました。

記念すべき「0号」のテーマは「暮らしの情報」と「2市2町の日本語教室案内」でした。「暮らしの情報」では、「2市(富士見市・上福岡市)2町(大井町・三芳町)で運営されている5か所の日本語教室が地図入りで紹介されています。

☆7か国語に翻訳されました。

☆毎月400部(役所、公民館、図書館に提供)
8月に発行された「1号は休日診療所」、「2号はごみの出し方」と生活に必要な情報を伝え始めました。

その他1997年のタイトルは以下の内容でした。

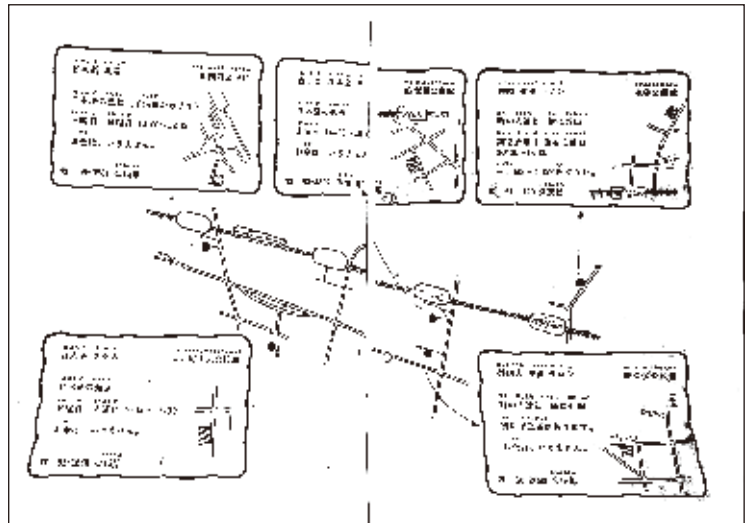
- *3号 秋に行われる行事
- *4号 地震の時の対処法
- *5号 年末年始に日本文化を体験しよう

【外国人配偶者に希望を与えた59号】

2002年6月に発行された59号には「外国人配偶者の名前を住民票に書き入れられるようになりました」という記事が掲載されました。それまでも外国人との婚姻は認められていましたが、外国籍の配偶者の名前は住民票に記載されませんでした。この年、総務省自治行政局から「住民票備考欄への外国人配偶者の氏名の記載について」という発表をうけて情報を提供したものでした。法改正ではありませんでしたが日本で様々な不安を抱えて暮らしている外国人配偶者にとっては「住民票備考欄に氏名を書き込める」だけでも大きな喜びでした。そのことを伝えたインフォふじみのも感謝されました。喜ぶ女性達の笑顔が忘れられません。

【インフォふじみのを握りしめてFICECの生活相談へ】

ある日、日本語がよく分からない外国人が丸めたインフォふじみのを持ってFICECにやってきました。「日本での生活に困ったら」ということで随分前に貰ったものでしょう。そんな形でFICECに繋がったことを喜ぶとともに、長い間大切にうけていただけたことをうれしく思ったというスタッフのエピソードもありました。



0号に掲載された5か所の日本語教室



59号日本語版

「インフォメーションふじみの」の表紙にみる26年間（歴史展の見どころ）

1997年の発行当初は、B5版でタイトルも表紙絵も手書き、7言語のタイトルはタイプなどで作成されたものを「切り貼り」していました。当時のスタッフの情熱や温かさが感じられます。ご記憶にある方も多いと思います。また表紙絵の楽しさを感じていた方もいらっしゃると思います。

◇0号から10号の表紙は地球と人形が記載されています。

◇11号からは「ifのイラスト」が表紙を飾ります。実はこの「if」は今でも毎号に載っています。お気づきでしたか・・・？

◇1999年、7か国語でスタートした使用言語も中国語・韓国語・タガログ語・タイ語・英語・ペルシャ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・日本語と翻訳言語は変遷とげています。当時のFICECを利用して外国人が誇りと期待をもって母国語翻訳に協力していたことをうかがい知ることができます。多言語情報提供事業として埼玉県西部20市町に配布していました。

◇42号からは日本の季節感のあるイラスト画を表紙に使用し、106号（2006年6月）からはサイズもB5版からA4版へと様変わりしてきました。

◇「119号」から表紙タイトルがアルファベットに！

タイトルも見比べて下さい。0号から

10号まで「Information Fujimino」と表記されていましたが11号からは「インフォメーションふじみの」となりました。2000年4月からフォントが変わって上記の「37号・106号」のようになりました。さらに2007年7月からは現在の書体「Information Fujimino」となり、発行月の位置も右上に定まりました。

◇166号（2011年6月）からの表紙絵はインフォふじみののためのオリジナル原画で日本文化や季節感を発信しています!!

◇2010年頃からの10年間にベトナム留学生は15倍となり、ニーズに応じて242号（2020年11月）よりスペイン語に換わりベトナム語版を追加しました。

【多くのみなさんからのご協力】

「インフォメーションふじみの」はNPO法人ふじみの国際交流センターの重要な情報提供事業として、株式会社オムテック様や丘亜蘭様のご支援を頂きました。



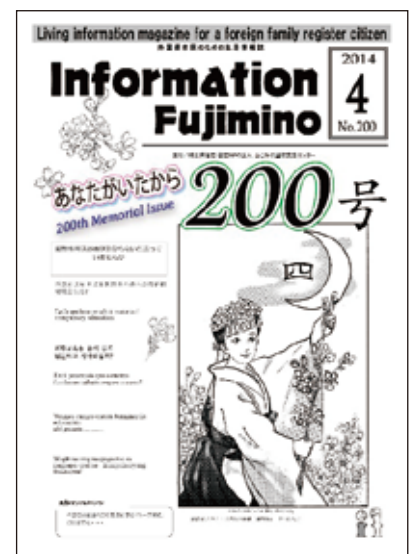
37号



106号



119号



200号

「描き続けて13年」

林 由紀子

1997年7月創刊、今年11月には260号を迎える歴史あるこの多言語情報誌『インフォメーションふじみの』の表紙絵を描いております。

きっかけは、編集をされていた大先輩、故 岩田仁さんの一言でした。「誰か絵描けるひといない？」私は少し迷ったものの手を上げました。2011年春のことでした。

私は2009年FICEC主催セミナーに参加後、日本語教室でボランティアとしてお手伝いを始めていました。私は夫の海外勤務帯同で合計10年近い英語での生活経験があります。当初は言葉の壁と生活や健康のための情報の乏しさに苦労ばかり。相手の言っていることは大体分かるもの言いたいことが伝えられぬ辛さ。夫以外話す相手のいない寂しさ。病気にもなれば、物も壊れる、修理も必要。ゴミの捨て方など地域のルールも分からない。観光と居住では大違いなのです。幸いにも親切な方々に出会い、生活上程度での英語の苦労はほぼ無くなりましたが、そんな苦労を知っている私だからこそ帰国後は言語で困っている方に恩返しをしたいと思いボランティアをしていたのでした。

そんな体験からもフリーで手に入るこの情報誌は世界に誇れるものと思います。当時私が必要としていたこと満載の情報誌の発行の一端を微力ながら担える機会を頂いたのです。

気づけば描き始めて13年。最初は毎月。5年目の2015年からは隔月。数えるところの『ハローフレンズ9月号』時点で94枚の表紙絵を描きました。自分でもびっくり！これまで続けてこられたのも全ての読者の方々、ご支援いただいております会員の皆様、支えてくださるスタッフの皆様そしてご尽力いただきました石井前理事長のおかげとこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

絵を描く際に心掛けていることが幾つかありますのでここに挙げます。

・季節ごとの日本文化の図柄を基本に目で楽しみ親しんで、あるいは「これ何の絵？」と興味を持っていただくこと

その為に歳時記、二十四節気と三候、七十二候



(例:「啓蟄、冬籠りの虫声を啓く」)を確認し、和風月名(旧暦で用いられた月の和風の呼び名。例:「睦月」等)や伝統行事、祭事を確認する

・宗教的な絵は避ける 但し日本に根付いた行事(除夜の鐘、お盆、クリスマス等)は除く

13年100枚近く描いておりますといわゆる「ネタ切れ」になり頭を悩ませております。同じモチーフであってもフォーカスを変え、できる限り工夫はしておるつもりですのでどうかご容赦ください。

さて、この秋に【多言語情報誌『インフォメーションふじみの』からみる外国人支援25年の歴史展】の開催を予定しております。振り返りますと初めて携わった頃の絵は拙く、掲示するのはお恥ずかしい気もいたします。それでも全ての絵はその当時の自分に描ける精一杯であり愛情を感じています。日本語教室のボランティアをやめた今、絵の評判を耳にすることも無くなりました。歴史展では創刊号から最新号までの全ての表紙絵も展示、あるいは資料としてコピーをご覧頂けます。連休中の開催でお忙しいことと存じますが会場へお運び頂き、是非ご覧頂いて備え付けノートに一言でもご意見、ご感想など頂戴できれば幸いです。



スタッフ紹介

世界の多様性を実感しています

平野 美芝

19年前、中国から日本へ留学生としてやってきました。平野美芝と申します。専門は日本語学科で、学校事務や一般事務の職で経験を積んでまいりました。しかしながら、私の人生に大きな転機が訪れたのは、オンライン英語学習中に偶然FICEC（ふじみの国際交流センター）の同行通訳養成講座を見つけたときでした。

その講座を通じて、私は異なるバックグラウンドを持つ先生やクラスメートと触れ合う機会を得ました。その交流は非常に楽しく、それぞれの視点から学びを得ることができました。特に、異なる文化や言語に触れる経験は、私の好奇心を刺激しました。

その後、私は日中通訳や翻訳、日本語ボランティ

アとしての道を歩み始めました。FICECのイベントに参加する中で、多くの人々と交流し、彼らのバックグラウンドや経験を通じて、世界の多様性を実感しました。新たな言葉や文化に触れることは、私にとって常に刺激的であり、その経験が私の成長を支えてきました。

今振り返ると、留学生として日本に来たことは私の人生における大きなターニングポイントでした。異なる文化に触れることで広がる視野や新たな可能性を感じ、これからも、先輩スタッフと共に、さまざまな人々との交流を楽しみにしています。この素晴らしい機会に感謝し、人間関係や文化の理解をさらに深めていくことを心から願っています。

イベント報告①

出張Cafe ficec



7月23日(日)、「コープみらいプラザまつり」にてCafe ficec"Only English Café"を開催しました。FICECのスタッフのほか日本語教室の学習者2名が参加し、来場した人たちと英語で会話をしました。

子どものためにキッズルームも作り、外国人スタッフと子どもたちが英語で楽しくゲームなどをしました。

大人34名、子ども29名と大盛況の会になりました。



イベント報告②



「上福岡七夕まつり」に参加しました

4年ぶりで開催された上福岡七夕まつりに参加しました。冷たい飲み物とピンボールゲームを提供しました。ピンボール台はFICECのスタッフの手作りで、皆で色を塗って完成させたのですが、コロナでイベントが中止になっていたのでもやっと日の目を見る事ができました。

8月5日(土)は朝から既に焼けるような夏の暑さでしたが、久しぶりの七夕まつりというこ

ともあり人々の出足が早く、開始予定時刻の前まで準備が終わるか終わらないかのうちに、ピンボールをやりたい子どもたちの長い列ができて大賑わいになりました。みな交替で休憩しながら、汗だくで対応に追われました。

列は夜まで途切れることなく続き、用意していた飲み物や景品が売り切れてしまったので七夕まつりの参加は一日だけで終了となりました。



視察報告

FICECは色々な団体から視察を受けていますが、その一つを紹介します。

埼玉県保健医療部と県内の5か所の保健所の方たちが、外国人の医療についてというテーマで来所されました。最初に永田副理事長からFICECの活動についての説明を行い、その後医療通訳や生活相談、日本語教室等を担当するスタッフが日頃の外国人とのかかわりの中から把



握できている外国人の医療の現状や、彼らの医療や健康保険に対する考え方等についてお伝えしました。その後質問に答えるなどの話し合いを行いました。

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

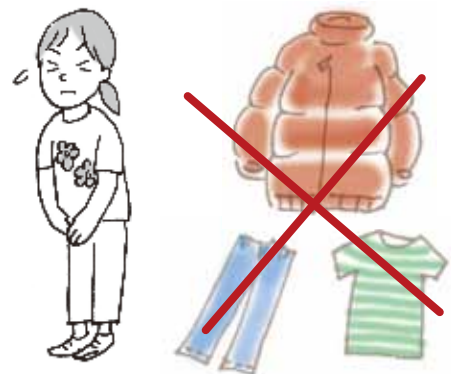
または、現金書留でお願いいたします。



おねがい

日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。
誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては
利用がないためお断りしております。
ご理解のほど、どうぞよろしく申し上げます。



○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

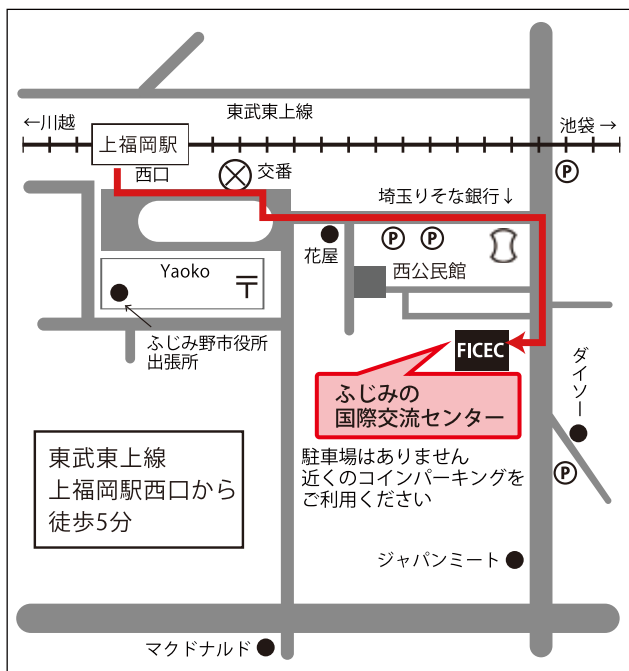
郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

**ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます**

●2022年8月1日～2023年8月15日(敬称略)

(公)社会貢献支援財団、赤羽典子、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、安銀柱、安昌美、伊藤愛、牛込亜紀子、大野渉、大室昭浩、小熊千寿子、岡本直久、片倉ミン、神田順子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、久保田正幸、熊谷洋興、栗嶋三千代、栗田順子、コック、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、酒井有香、佐藤義治、ジェット、島崎達朗、島田道子、清水昭彦、江科、進洗子、芹澤英樹、ゾシスザン、高橋博、趙珉技、チンテイヴァン、塚本英樹、デシインガワティ、寺村璧如、トアテイスニル、戸塚成子、永田信雄、沼田伊久俊、長谷川正江、平野美芝、深沼マリ、藤澤園子、水野毅、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉沢悦子

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、勝沼深、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、仲野京子、野田恭三、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター
サービス案内

外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費	内容・予算に 応じて相談
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)	
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)	
	ボランティア講座		
企画・運営	国際交流・国際理解に関する イベントや研修の企画・運営等		
編集・出版	多言語による情報誌・ガイド ブック・チラシなどの制作		
翻訳	婚姻関係、ビザ 申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ	
通訳	半日5,000円+交通費		
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日	